



- ① おめでとう スーパーカブ誕生
- ② 私たちの隊の活動報告
- ③ 尾張東カブラリーが行なわれました
- ④ ジャンボリー 今昔

第5号 平成25年11月20日  
編集・発行  
日本ボーイスカウト愛知連盟  
尾張東地区 組織拡充委員会  
広報部会 編集・発行  
編集責任者 野村 典孝

◇ 私は目標を達成しました。

日進第1団 カブ隊  
山下 さくら

私は目標にしていた「スーパーカブ」になりました。チャレンジ章の内容は私が今まで知らなかったり、興味がなかったことをよく知るチャンスになりました。チャレンジ章を一つ一つ習得していくことは大変な時もあったけど、自分で目標が達成できた時はとてもうれしく、自信を持つことができました。



◇ スーパーカブになって

小牧1団 カブ隊くま (現ボーイ隊)  
島田 芽依

わたしは、スーパーカブになって思ったことが3つあります。

1つ目は、次長としてがんばって組長がないときも、いっぱいがんばりました。

2つ目は、みんなと仲良く遊んだり、活動したり、ご飯を食べたりして、みんなとの友

情が深まったなと思いました。ボーイになったら、せんぱいたちとも仲良くしたいです。でもまだ、カブの人と仲良くしたいです。

3つ目は、ボーイになってがんばりたいことです。わたしは、はずかしがりやだから、始めての人とかは、あんまり話せないの、みんなでいっぱい話したり、遊んだり、活動をいっぱいしたいです。さいごに、カブになって思ったことは、あきらめることもあったけど、カブに入って知らない人ともいっぱい話せたし、みんなと仲良くできました。カブでは、ならったことをいかして、ボーイでもがんばりたいです。

チャレンジ章は、すごく日にちがかかり大変でした。むずかしいのもあったし、特技博士では、習字をがんばりました。自分でもよく40個もチャレンジ章がとれたなあと思いました。スーパーカブになれて、とてもうれしいです。これからもいろんなことにチャレンジしてがんばりたいです。



◇ 貝合わせ

大口1団  
ビーバー隊長 河合 正治

5月26日、団のスカウトハウスにて小ぶりではありましたが、蛤の貝殻を使い貝合わせゲームを行いました。バラバラにした貝殻を合わせる作業から始めたのですが、スカウト

はトランプゲームのように集中し、集中力を持続したまま貝殻に、絵を描く事が出来ました。体験者も4名の参加が有り、楽しい隊活動になりました。

大口1団 ビーバー隊  
いとう ゆうか

きょうは、貝あわせゲームをしました。みんな同じ貝に見えるので、合わせる事がうまくできません。でもそろりと、とてもうれしかった。絵は貝がらのうちがわに、かきました。お父さんも、ひこうきを楽しそうにかいてました。



#### ◇ 盲導犬「カインド」

大口1団 カブ隊  
大橋 江里佳

6月16日に中部盲導犬協会へ行きました。盲導犬はとても頭がよくてかわいかったです。盲導犬が生まれてから死ぬまでの説明や、盲導犬になるまでにどんな訓練をするのかとか、盲導犬の仕事もわかって楽しかったです。



#### ◇ キャンプの思い出

大口1団  
カブ隊 江口 紗世

7月27日から29日まで、団のキャンプで、犬山キャンプ場に行きました。私がキャンプに行っておもしろかったことは、4つあります。それは、みんなと協力してやったごはん作りと、魚つりと、キャンドルつくりと、キャンプファイヤーです。その中で一番楽しかったことは、魚つりです。10匹きもつれました。その中の1匹は大きいのでした。大きいのをつったのは私だけだったので、すごくうれしかったです。最初の方はぜんぜんつれなくてつまんなかったけど、つれるようになってきました。とってもいい思い出になりました。



#### ◇ キャンプファイヤー

日進第1団 カブ隊  
小原 ひなた

私たち、カブスカウト日進一だんは、8月16、17、18日に夏きしゃえいに行きました。その中で、一番心にのこったのは、キャンプファイヤーです。

キャンプファイヤーではその日のために練習してきたスタuntsを発表しました。楽しかったです。そのほか、デンリーダーによるゲームなどをしました。自分たちと同じくらい大きな炎がときどき風にふかれ「わび」(むかしからあった赤いうち上げ花火のこと)のようにひらめき、とてもきれいでした。



ともたくさんしゃべれてうれしかったです。  
 それで、最後の日がきて春日井とはお別れ  
 だったけど、楽しかったです。  
 カブ隊最後の夏のキャンプは最高でした。



### ◇ 夏キャンプの思い出

犬山第5団カブ隊  
 児玉 佑一郎

ぼくは、他の団のスカウトと一緒にキャンプに行くのは初めてなので、少し不安でした。でも一日目の夕食を一緒に食べる頃から、話しかけてくれたことにきんちょうしながら返事をしていたけど、食事が終わる頃には仲良くなれていました。夜寝る前に明日の活動のことを話しているうちとても楽しくなれ、二日目の活動はとても楽しかったです。いかだを作り、たらい舟と一緒にのりました。三日目になると、今日でお別れかなと思ったら淋しくなりました。とうとうバスに乗って帰る時が来ました。みんなでおもしろい話をして淋しさは少しへってきました。

バスで僕たちは早くおりました。バスが見えなくなるまで手をふり続けました。9月からボーイ隊に上進しました。これからは、他の団の子たちとも仲良くやっていきたいです。チーフを探してくれてありがとう。これからは、自分の荷物の整とんがんばります。

### ◇ カブ3年間の思い出

犬山第5団カブ隊  
 桑原 悠輔

僕の一番の思い出は、春日井との夏のキャンプです。

最初は、すごくいやでした。でも、一日たつとすごく楽しくなって、もっといっぱい遊べたらいいなと思いました。ちがう班の子

### ◇ 夏キャンプ

犬山第5団カブ隊  
 生田 満里

8月16日から18日まで国立若狭湾青少年自然の家で、私たち犬山第5団カブ隊と春日井第8団のカブ隊が合同舎営をしました。

1日目はトビーの森で“たんさく”をしました。2日目の組み立ていかだでは、丸太を2人1組になって運びました。長いロープで丸太を1本1本結ぶのは、ボーイ隊の人やリーダーに教えてもらいました。完成していかだに乗った時はとても気持ち良かったです。大だらいにも乗りました。そして何よりも春日井8団の人と仲良くなれて良かったです。とても良い思い出になりました。



## ◇ ボーイスカウトに参加してみても

犬山第5団 カブ隊DL  
上野 美智子

昨年はデンリーダーとして一年間ボーイスカウトに参加することができ、大人になって初めてボーイスカウトが身近なものになりました。おかげで知らない世界を探究する機会に恵まれました。

我が子とも、母ではなくデンリーダーとして接し、お互いが違った顔を垣間見ることができ新鮮でした。

一年間子供達と一緒にすごし、色々な体験を通して、彼らが成長していく姿を見守ることができました。一年でも大きな成長がみられるのですが、この一年一年の積みかさねがさらなる成長へとつながっていくと思うと、とても楽しみにになりました。

大人も子供と共に、成長する喜びを味わうことのできる一年間でした。



## ◇ 水生生物調査

日進第1団 ビーバー隊  
石川大翔 (いしかわやまと)

夏休みに、天白川の生き物をしらべました。カブ隊の、お兄ちゃん達と一緒に川に入りました。川には、しっぽの生えたカエルや、ザリガニ、スジエビ、メダカなど、たくさんの生き物がいました。ヒメタイコウチと言う、めずらしい魚もいました。川の中から、アミをあげる時、何か入っているかな～とワクワクしました。楽しくて、あっという間に終わってしまいました。



## ◇ 水しつちょうさ

日進第1団 ビーバー隊  
中林 輝 (なかばやしてる)

夏休みに、ビーバーとカブで、水しつちょうさに行きました。

川に入って、あみでいろんな生き物を、つかまえました。さいしょはなかなかつかまえられなくて、なにもいないのかと思ったけれど、いっしょうけんめいさがしていたら、ヒメタイコウチを見つけました。さいしょは、ふつうの虫だと思っていましたが、先生にぜひめつしそうなめずらしい生き物だと言われました。きれいな川にしかすむことができないと言っていました。ぼくは、びっくりして、とてもうれしかったです。ヒメタイコウチは、この日、1匹しか見つけることができませんでした。

ヒメタイコウチのような虫がたくさんすめる、きれいな川が、たくさんあるといいなと思いました。



## ◇ 消防署見学

春日井 8 団 カブ隊 (現ボーイ隊)  
古藤 大雅

ぼくは、春日井市役所近くの消防署に社会見学に行きました。最初に消防車を見ました。消防車にはいろいろな種類があり、どれもはく力があってすごかったです。

救急車を見学しているときには、突然緊急通報がなり、ぼくたちは、あわてて救急車から離れました。救急車はあっという間に、出て行きました。消火器の使い方も教えてもらいました。次につな渡りの訓練を体験しました。横にはったロープにぶらさがって、ゴールまでいくのですが、やってみると思った以上に難しかったです。消防士の人たちは日頃からこのような訓練をしているそうですが、救助される人と自分を守るために欠かせない訓練だそうです。最後に市役所の 5 階にある通信司令室を特別に 15 分間だけ見学させてもらいました。火事や事故の連絡はすべてここに集まり、ここから近くの消防署に連絡をし、消防車や 救急車を出動させます。見学しているとき、朝宮公園でケガをした人がいるという連絡が入ってきました。通信司令室の人は大変だなと思いました。消防署の人たちの仕事がとても大切だということがよくわかりました。



## ◇ キャンプはたのしい

春日井 8 団 カブ隊 (現ボーイ隊)  
古藤 大雅

7 月 20 日から 1 泊 2 日で瑞浪市にある岳見キャンプ場に行きました。工作で水てっぽうをつくりました。竹を切っ

て作る水てっぽうは初めてでしたが、上手作れてうれしかったです。そして、全員で完成した水てっぽうで水のかけあいをしました。全身がびしょびしょになったけど、とっても楽しかったです。

夕食にはカレーを作りました。ぼくは玉ねぎの皮をむきました。自分たちで作ったカレーはすごくおいしかったです。夕食後のお風呂はドラム缶風呂でした。ドラム缶風呂は初めての体験で、どうやって入るのか分からなかったの、隊長に教えてもらって、入りました。底が安定しなかったの少しこわかったです。でも外のお風呂はとっても気持ちよかったです。夜はガールスカウトの人たちと一緒にえい火をしました。桃太郎のげきをしました。練習する時間がなく不安でしたが、きちんとせりふが言えてよかったです。翌日はキャンプ場開きのお祭りの手伝いをしました。ぼくは、ピザを作る手伝いをしました。それから広場でいろいろな物を食べました。イノシシを丸ごと焼いた料理も食べました。イノシシの肉は初めて食べたけどおいしかったです。スイカも食べました。2 日間があっという間にすぎたキャンプでした。



## ◇ 若狭湾自然の家夏舎営

春日井 8 団 カブ隊 (現ボーイ隊)  
萱野 颯斗

8 月 16 日から 18 日まで若狭湾青少年自然の家で、犬山 5 団と合同で舎営をしました。1 日目は山でハイキングをしました。とっても暑く、道も急でたいへんでした。2 日目は海でいかだ作り、大だらい、カヌーなどに挑戦しました。重い材木を運んできて、いかだを

作るのは大変だったけど、海にいかだをうかべてこぎだしたときは、ものすごくうれしかったです。3日目は工作ではしを作りました。あつという間の3日間でしたが、犬山5団の人ともたくさん友だちができました。また、いっしょにキャンプに行きたいなと思いました。



#### ◇ 春日井4団の創立45周年記念キャンプ

春日井4団 団委員  
青木 正士

春日井4団は今年創立45周年をむかえ、この夏の8月16日～18日のあいだ総勢110名ほどで創立記念キャンプを三重県のスカイランド大洞で行いました。1月に45周年記念行事実行委員会を発足しそのなかで三浦団委員が率いる「記念キャンプ小委員会」が1月から精力的に動き先日無事キャンプが終わりました。今回のキャンプのテーマはいつもの隊別の長期キャンとは異なり春日井4団の全員参加でスカウトを縦割りにして「大人から子供までみんなで楽しむ」でした。縦割り班とはベンチャースカウトもしくは菊スカウトが班長となり団内のビーバーからボーイを6班に分けて二泊三日スカウト活動する方法で、一つの班にベンチャーからボーイ、カブ、ビーバーチャンとビーバーチャンの父兄まで含めた15～16人が混在するグループ活動する催しです。

1日目は全員でキャンプサイトの設営(ビーバーとその父兄は舎営)と夜はローバー隊主催の「肝だめし」。あまりに怖くて泣いてスタート出来ない子供が続出。私も素顔で脅し役をしましたが私の顔を見るなり泣き出す子もいて??1日目終了。

2日目は団委員主催の場内プログラムラリーとローバー主催の場外プログラム。縦割り班は幼稚園の年長から中学生までいるのでプログラムには工夫がいきます。特に場外プログラムの登山もしくはハイキングはボーイ隊には物足りないがビーバーチャンには厳しいです。でもローバースカウトが工夫を凝らした内容で運営して全員満足して場外プログラムの登山やゲームをこなして帰りました。夜はローバー隊主催の大營火、最近4団のキャンプファイヤーはローバー隊が仕切っていて、なれたものでビーバーちゃんから大人まで皆非常に盛り上がり楽しんで終わりました。

3日目はやり残したことを片付けて撤収です。私の感想ですが縦割り班の班長のベンチャースカウトと菊スカウトの6名の頑張りがあったからこそ成功したと思います。あるビーバーのお母さんが「うちの子供あんな高校生になれるかしら?」つと言ったことが非常に心に残っています。最後に炊事班の父兄と団委員に三日間の炊事と心遣いを感謝します。



#### ◇ 友団スポーツ大会を終えて

大口 1団 カブ隊  
伊藤 優花

6月23日に江南ライオンズ杯のドッジビー大会がありました。江南市のカブ隊4隊とドッジビーでたたかいました。大口は、女子だけのチームでしたが、さいごに男子のチームに勝つことができ、うれしかったです。来年は1位になりたいです。



#### ◇ カブスカウトキャンプの思い出

小牧1団 カブ隊しか  
鈴木 雄生

僕はカブスカウトで8月16日から18日までキャンプに行きました。

1日目、バスからのけしきがすごいよかったです。部屋は小さかったけど、みんなと楽しく過ごせそうでした。夜ご飯はマーボー豆腐で見た目はおいしそうだったけど、食べると辛かったです。水筒を忘れてしまったので、「からーい」と言いながらがまんしてたべました。お風呂は薬草風呂で、すごく気持ちよかったです。そこで友達にけられて嫌な思いをしたけど、デンリーダーの人がいやしてくれたのでうれしかったです。2日目のお昼に登山をしました。途中でガケの間がありました。怖くて危なかったのですが、デンリーダーの人と一緒にガケを渡りました。山の頂上にはバッタがたくさんいました。頂上からのけしきは最高でした。頂上で食べたおにぎりもおいしかったです。また登山はしたいけれど、危ないところがたくさんあるので、1才の妹はつれていけないと思いました。夜にはキャンプファイヤーをしました。僕は5組で、「ももたろうとなかま」をやりました。僕の役はなめこでした。ダンボールで作ったお面をかぶって「なめこのうた」をおどりました。パパががんばったねとほめてくれました。ベンチャー隊の人が「ボーイ隊いがいは良くできた」と話してくれました。僕はボーイ隊もがんばっていて良かったと思ったので、なんでボーイ隊はだめなんだろうと思いました。

キャンプファイヤーはきれいだったけど、暑かったです。3日目ですごく楽しかったことは「ニジマスとり」です。僕は石の下にかくれているニジマスを見つけて1匹手でつかまえました。みんなで食べたニジマスの塩焼きはおいしかったです。僕はニジマスの塩焼きをお土産にしたかったです。

3日間とても楽しかったので、また行きたいです。



#### ◇ 夏のキャンプを終えて

大口1団 カブ隊  
大橋 江里佳

7月26日から28日まで、岐阜県揖斐春日六合にキャンプに行きました。君が代の歌に出てくるさざれ石のある公園までハイキングをしたり、あゆのつかみ取りをしたり、竹で炊いたご飯をたべたりして、夜はキャンプファイヤーをしました。あっという間に3日間が過ぎた楽しいキャンプでした。



### ◇ 「不自由でも たのしいキャンプ」

瀬戸6団 カブ隊副長  
関本 泰彦

今回の夏期キャンプ訓練は、「何でもなりきりレンジャー隊」をテーマに訓練中に下界で大きな災害が発生した事を想定し、非常食と限られた水や燃料で活動を行い、ちかいとおきてを実践しました。メインイベントのシャワーライミング前日の夜に激しい夕立が降り、プログラム変更の決断を迫られ朝まで悩みましたが、現地のインストラクターの配慮により水源の水量を調整して頂き、決行する事ができました。今回の訓練では、少し不自由な生活をさせることで、スカウト同士の結束の高まりと、成長を見ることが出来ました。



### ◇ 日本ジャンボリーに行ってきました

春日井第5団 ボーイ隊  
伊藤 晴輝

僕は日本ジャンボリーに行きました。ジャンボリーには全国からたくさんのボーイスカウトたちが集まってきました。いろいろな国の人たちも参加していました。安部総理や皇太子さん、宇宙飛行士の野口さんなども来てくれました。



僕が楽しかったことは、たくさんの国の人や全国の人たちと交流したことです。いろいろな物を交換したりいろいろな事を体験して、楽しかったです。

僕は、ジャンボリーに行けて良かったです。

### ◇ 「日本ジャンボリー」

江南第1団

ボーイ隊 駒田 道哉

ぼくは、日本ジャンボリーに行ってもよかったなと思いました。理由は、全国の人たちとたくさん交流ができたし、いろいろなことを学べたからです。一番つらかったことは、会場がうめたて地でなにもないので、日陰がなかったのが暑いし、しんどかったことです。

びっくりしたことは、安倍首相や皇太子さまなどがジャンボリー会場に来たことです。実際に本人たちに会えてうれしかったです。

楽しかったことは、生まれて初めて、場外プログラムで広島原爆ドームに行ったことです。小学校の教科書でしかそれを見ていなくて、ジャンボリー中に行けたので良かったです。行って見た感想は、原子爆弾のおそろしさや平和の大切さなど改めて感じました。場内プログラムでは、チーフリングを作ったり、工作などをしたりしてとても楽しかったです。こんな長い長期キャンプは初めてで、不安もあったけど、すごく楽しかったし、もっとキャンプがしたかったです。今回の大会でいろいろ学べたので、これからの生活に生かしていきたいです。今までで一番楽しい出来事でした。



## ◇ 「16NJについて」

江南第1団  
ボーイ隊 山本 圭

ぼくは、ボーイスカウト5年目、ビーバーからボーイまでやりました。ぼくは、日本ジャンボリーは、カブからとても行きたかったのがかなってよかったです。ぼくはタイガー班として、2回の訓練キャンプ、日本ジャンボリーをすごしました。初めての長期キャンプでなれていませんでした。なれないけれど、みんなときらら浜でごはんを食べたり、交流したりできたので、たくさんいい思い出でいっぱいになりました。プログラムでおろちのチーフリングをつくったり、ソーラーカーに乗ったりして、楽しかったです。

東京の人や大阪、香川などいろいろな県や国からたくさんの人がいて、少しの時間でもしゃべったりして、うれしかったです。でも反対に悲しいこともありました。広島ピースプログラムで原爆でたくさんの人がなくなったり病気になったりしたりして、えいぞうや写真を見るだけで悲しかったです。でも悲しいことがあっても楽しいことばかりだったので最高の9日間でした。

## ◇ 16NJに参加して

大口第1団  
丹羽 梨恵

初めての日本ジャンボリーは大変楽しく元気に活動できました。今回、初めて次長という役割をやってみて、まとめるというのはとても難しいということを実感しました。でも、なれるにつれて、指示を出したり、班長の手伝いなどをすることができたと思います。この10日間の間で他のたくさんの方との交流や、ここにこないと体験できないことなどを楽しく体感することができたと思いました。特に外国人と話したりするときに英語を使うのでとても自分のよい経験になってよかったです。そして他の県の文化なども知れてとても楽しく学習することができました。日本ジャンボリーの経験は一生忘れない思い出として、心の中にとどめておきたいと思います。



## ◇ 日本ジャンボリーの思い出

大口1団  
村瀬 涼

ぼくは、ジャンボリーの思い出は、プログラムと交流です。プログラムは、とてもいろいろなところへ行きました。カルチャーでは、鳥取県のブースでチーフリングを作ったり、高知県のブースで龍馬検定を受けたりしました。広島ピースプログラムでは、原爆が落ちた広島へ行き原爆ドームや原爆についての詩もきました。サイエンスプログラムでは、電気をつくったり、ソーラーカーに乗ったりしました。他にもGDVやフリープログラムがありました。交流ではチーフリングの交換や、交流会の呼びかけなどをしました。ぼくの班はとてもたくさんの方と、交流をしました。ぼくたちの隊は、日本全国の方と、交流するという日本征服マップというものがあったので、かなりうまりました。日本ジャンボリーはとても楽しく、2年後の世界ジャンボリーも行ってみたいと思いました。



## ◇ 「日本ジャンボリーの思い出」

大口1団ボーイ隊  
長谷川 翼

僕は、今年初めて日本ジャンボリーに参加しました。愛知県から山口県までの道のりは長く、バスで10時間ほどかかりました。そしてサイトについてから設営をしました。次の日には開会式、その次の日からプログラムが始まりました。プログラムは場内と場外の2つがありました。場内プログラムはカルチャー・サイエンス・GDV（地球開発村）プログラムに参加しました。場外プログラムでは広島ピースプログラムで平和記念公園に行って「平和」について考えました、どのプログラムもとても楽しかったです。でも、僕が一番楽しかったのは色々な人との交流です、他県の人や外国の人との交流を通じて、様々な文化や特色を学ぶことができました、また、チーフリングなどの交換で交流したということを残すことができました。

今回のジャンボリーで自分から積極的に行動を起こす大切さを知りました。二年後の世界ジャンボリーも自分から人に話しかけて友達をつくりたいと思います。



## ◇ スカウトとして50年

春日井1団OB  
酒向 宏

今から50年前、春日井市にはじめてのボーイスカウトが春日井1団として誕生しました。それまで、ボーイスカウトなるものを見たこともなかった私でしたが、学校とは違うことをたくさん出来るんだと言われ、面白そうだと思います？発団とともに入団しました。入団後はキャンプ、ハイキング、鼓笛隊活動や数々の奉仕活動等を経験しました。それまでは縦にしか動けなかったものが、横にも上にも下にも動ける体験をしました。スカウト活動は、楽しい、面白いと本当に思いました。年長隊富士野営には当時の名古屋第37団から

参加しました。全国から集まったシニヤ（現在はベンチャー）スカウトの数に圧倒されながらも、こんなに多くの高校生がボーイスカウトをしているんだと思うと、とっても嬉しい気持ちになったことを覚えています。富士の麓は夏とはいえ、夜は大変冷え込み名古屋とはちがうと改めて思ったりもしました。各隊の隊長を招いての夕食会には力をこめて鶏一羽を使っての料理で、おもてなしをしました。羽根をむしること一つをとっても工夫が要ります。

時は経ち、現在はスカウト活動からは離れていますが、仕事で神戸に転勤になった翌年、阪神淡路大震災に遭遇し、電気、ガス、水道がない生活が続きましたが、スカウトとしての経験がおおいに役立ち、無事に苦難を乗り越えることが出来ました。もし、スカウトの経験が無かったならば、事の重大さばかりに目が行き、どうすればよいか、何をすべきか、といった、次の一手を考えることはできなかったと思います。

思えば、スカウトとして「ちかい」をたててから、50年経ちますが、この間いろいろなことに直面してきました。それを一つ一つ乗り越えてこられたのは、スカウトの経験があったからだと思っています。

ちなみに、私がスカウトとして誓いをたててからいつも大切にしている言葉は「そなえよ常に」です。

## ◇ 年長隊富士野営

春日井1団 OB  
社本 宣徳

今ではボーイスカウトの歌集の中にしかこの「年長隊富士野営」の言葉はありませんが、私たちの時代にはシニヤ（ベンチャー）スカウトだけを対象にした年長隊富士野営という日本連盟主催のプログラムがありました。スカウトの憧れの地である富士山麓山中湖畔にある野営場で行なわれるキャンプには、全国から選ばれたスカウトが集まってきます。私は幸運にも2回参加することができました。1回目は京都の隊長さんの下で、2回目は新潟の隊長さんの下で、一色のスカウトとの混成でした。全く面識のない隊長の下での初対面の

スカウトともに、食住を共にするのは、スカウトでなければできない体験で、楽しく、おもしろいものでした。イカダ作りやモンキーブリッジ、立ちかまどは目的ではなく、プログラムの達成の手段にすぎず、作って当然、出来て当然と、全国のスカウトと競い合っただけの内容でした。

今、私は町のパン屋さんとして、毎日沢山の種類のパンを作っていますが、昨日よりも今日、今日よりも明日はもっとおいしいパンを作ろうと日々奮闘しています。この考えは、ボーイスカウトで養われたもの（日々改善）だと思っています。すなわち自分たちで、どうすればよいかを考え、仲間と協力してそして実践していく姿勢です。時々できることなら、もう一度あの時代に帰り、もっといろいろなことをしたいものと、思うときがあります。時間は誰にでも平等に与えられていますが、その時間をどう使うかは、みなさん次第だと思います。

#### ◇ 世界に広がる輪

春日井第8団 ベンチャー隊  
木村 元胤

私は、今から4年前の2011年8月ボーイスカウト春日井第8団、春日井市姉妹都市交流にてカナダケローナ市を訪問しました。(7泊9日) 現地では日本の文化を伝えたり、合同キャンプをして交流を深めました。

ホームステイは3日間では有りましたが、あっという間の楽しい時間を過ごしました。

食事は日本とは違いボリュームが有ります。言葉は当然英語です。僕は英語にはまったく自信が有りませんでした。ジェスチャー丸出し(笑い)でも何とか通じ、ホスト先(ホームステイ)の家族と打解ける事が出来ました。

同時に、このとき程、本当に英会話が出来たらもっと通じ合えたのではないか、と思ったことはありませんでした。今回カナダ留学をしたキッカケはこのような体験が出来たからでした。帰国してから、ホストファミリーにメールしました(お礼ともう一度ケローナに行きたいという内容)と、ところ何故か、カナダ留学の話になりました。

ホストファミリーの知り合いの日本人の方に留学への道を繋いでもらいました。ボーイス

カウトをしていたことが、かなりプラスに働いたようです。したがって、僕は中学校を今年3月に卒業して、直ぐにカナダケローナへ渡航しました。

(現地ホスト先/語学学校/高校入学手続き/ビザ申請等は親任せ)

現地カナダは(海外)日本と違い終業式が6月ですので、日本の中学校を卒業しても、また2ヶ月間は現地の中学校で学びました。

7月と8月は現地語学学校で文法/会話等の勉強で9月から入学する高校の準備をしました。もちろん現地ケローナのボーイスカウトにも所属する事になりました。活動はキャンプ/ロッククライミングをしましたが、まだ本格的には参加していません。9月から徐々に参加する予定です。来年2014年は世界ジャンボリーが日本でおこなわれるので、夏に帰国した際は是非参加して、通訳の手伝いをしたいと思っています。

カナダは多国籍の国です。いろいろな国の人たちが集まっています、世界は一つだなーと今徐々に実感しています。

僕は小さい頃よりボーイスカウトでいろいろな体験、経験をすることができました。自分で何事にもチャレンジする勇気が作れたことが一番良かったと思っています。

<http://www.internationaleducation.ca/>

上記は9月から通っている高校のHPです。



## ◇ 第1回尾張東地区カブラリー

平成25年3月24日(日)、地区合併後初めてのカブラリーを開催しました。

第1回は旧エリアごとに地区内3箇所「カブリンピック」のテーマのもと、同時間同種目で開催しました。各エリア担当者より当日の盛り上がりを報告します！

### □ 北エリア(犬山7団石田カブ隊長)

北エリアは、にしはる文化の森で開催しました。前日は生憎の天候でしたが当日はぽかぽか陽気で絶好のラリーとなりました。

スカウト技能を取り入れた競技内容のため各組の組集会の成果が十分発揮されたカブリンピックになりました。穏やかに時が流れるゲームもある中、最終競技のロープマスターは最高の盛り上がりを見せました。

いつかは尾張東地区全体で開催したいですね。



### □ 中エリア(春日井4団伊藤カブ隊長)

大池緑地グラウンドで開催したカブリンピック。スケールハンターやドリームワールドといった頭を使う競技、サインキムスのように記憶力を試される競技、ロープマスターは日頃の訓練の成果を発揮する競技、といった多様な種目を当日編成されたグループの仲間とともに競いました。

昼休憩後にはVSによる友情プログラムがあり、他団のスカウトと名刺交換を楽しみました。

自団の仲間とは違う交流がもて、スカウトも指導者もいい刺激を受けた一日になりました。

### □ 東エリア(日進2団山本カブ隊長)

モリコロパークにて東エリアのカブラリー(カブリンピック)を実施しました。前日までは雨の予報で開催できるか不安いっぱいでしたが、スカウトたちの元気パワーに恐れをなしたか？雨雲が退散！とてもいい天気となりました。

当日はスカウト67名、指導者58名の計125名の参加があり、この大人数での大輪は、まさに圧巻。運良く？カブコールをさせて頂きましたが、あまりの気持ちよさにやみつきになりそうな位です。

カブリンピックの4競技ではスカウトたちが日頃の組集会や隊集会で練習した成果をいかに発揮！最初はちょっと硬かったチームの雰囲気も競技が進むにつれて、仲間同士うちとけ笑顔いっぱい。応援や歓声も相まって大いに盛り上がりました。

最終競技のロープマスター(ロープワークのリレー)では興奮もMAX！急ぐあまり結索が弱くほどけてしまうチームが続出しながらも、何度でも結びなおし全員がゴール。最後まで諦めない姿には感動です。

最後に、今回のカブラリーを盛り上げてくれたスカウトたち、ご支援いただいた指導者の皆様、ありがとうございました。

